

令和4年度 第1回
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

令和4年7月14日（木） 10:00～11:30

2 場 所

本校管理棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（5名）

元幼稚園園長、元NHK記者、前町内会長（下宿主）、公立中学校長、同窓会副会長
校内委員（9名）

校長、教頭、事務長、教務副主任、生徒指導主任、進路指導主任、保健主任
商業科主任、教務部（記録係）

4 会 順

(1) 委嘱状交付

(2) 学校長あいさつ

(3) 自己紹介

(4) 部活動成果発表

ソフトテニス部・地域プロデュース部・剣道部の順で発表

(5) 学校の概況説明

ア 教務部

イ 生徒指導部

ウ 進路指導部

エ 保健部

オ 商業科

(6) 質疑応答、提言等

5 質疑応答、提言等

- ・ 資料が見やすく良くなった。学校経営の概要がすっきりした。
- ・ コロナが再拡大しているが、学校としての対応については、何か具体策はあるのか。
 - 日常の検温及び手指消毒等継続に加え、集会等の開催形式を再検討。一方、熱中症への対策も必要であり、両面で対策を実施。また、部活動でも感染対策を徹底している。
 - 文科省が示したガイドラインに沿って今後とも対策を実施。4月は陽性者の座席前後・左右の4人は濃厚接触者となっていたが、現在では陽性者が出た場合でも、座席間が1m以上離れていれば濃厚接触者にならず、熱発や発症した場合のみPCR検査を実施。今後も可能な限り教育活動を行っていきたい。

- ・ 学科としては商業科1学科なのか。各学科は独立しているのか。
 - 3学科が、それぞれ独立している。

- ・ 各学科生徒数、定員及び倍率はどれくらいか。入試の時点で各科を受験するのか。
 - 現在、商業科255名、情報処理科187名、国際経済科29名、合計471名が在籍。
学科毎に募集し、生徒は各学科を受検。3学年の定員総数は840人だが、現在の定員における生徒充足率は56%である。

- ・ 進学及び就職率は100%にもかかわらず、定員における生徒充足率が56%である要因はなにか。校長からの説明があった通り、地理的な交通事情や寮が要因なのか。
 - 先述した要因の前に、根底に少子化があると考え。加えて、男子校（男女別学）という部分も関係しているのではないかと考える。中学校へ学校説明会に伺う際、男子校はのびのびできて楽しい（男子校のメリットはある）と伝えている。別学で学ぶ利点はあるが、時代の流れから敬遠され気味だとも考えられる。

- ・ 鹿児島実業高校と当校は教育内容で重なる部分があるのか
 - 鹿児島実業高校は現在共学であり、普通科の学科もあるため当校とは重ならない。

- ・ 鹿児島市長及び鹿児島市教育委員会は、当校の現状を踏まえ、当校の今後をどの程度真剣に考えているのか。通学したくてもできない生徒がいる状況について、改善の姿勢が全く感じられない。
 - その点は設置者である鹿児島市教育委員会の所管と考える。約20年前から、鹿児島市教委員会へ要望を出しているが、変更されていない。同じく市立高校である鹿屋女子高校や国分中央高校は、各自治体が方針を打ち出し、校舎の改築や学科のリニューアルを行っている。財政上の問題もあると思うが。

- ・ 公立高校の募集定員説明会に参加した際、公立高校は生徒を呼び込むことが難しいと感じた。少子化により生徒は減る一方、高校は定員を確保し学校を維持しなければならず、加えて私立高校は助成金があるため公立高校にとってはより厳しい状況であると理解する。そんな状況だからこそ、最後は直接会って当校の良さをPRすることが必要と感じる。公立中の校長として、当校の良さを今後も発信していく。当校をこれからも応援していきたい。

- ・ 資料が刷新され、見やすく非常に良い。

- ・ 校長からも話があったように、魅力ある学校づくりや学科再編について、同窓会からも幾度となく鹿児島市教育委員会へ要望を出しているが全く変わらない。とはいえ、当委員会が声を上げなければ何も変わらないため、今後も要望し続けることが大事である。

- ・ 現在の国際経済科の入学者数を見ると、当学科は存在しないのと等しい状況になっている。中国語・韓国語の学習を今後どのように生かしていくのが大事なのではないかと。

- ・ 地域プロデュース部について、非常に良い活動を行っているが、残念ながら新聞等

への掲載が少ない。学校から積極的に新聞社等に売り込むなどの発信が必要ではないか。鹿児島ユナイテッドFCとの連携等をもっとPRし、知名度を上げていく活動が必要だと感じる。

→ 行事のたびに、記者クラブに案内を出しており、今後も積極的に発信していく。

・ 中高連絡会について、案内を出した81校のうち、参加は19校のみ（不参加62校）とのことだが、この81校はどのような基準で選んでいるのか。

→ 中高連絡会は生徒との面談の都合等もあり、1年生の出身中学校に向けてのみ案内を送付している。日程面及び地理的な面で今年度の参加は19校にとどまった。

・ 中高連絡会については、もっと広く案内を送付すべきではないか。当校の良さをPRしていくことが必要と考える。

→ 県内外問わず113の中学校へ1日体験入学の案内を出している。中高連絡会への参加が少なかった理由を調査し、次年度へ生かすべくアンケートを実施したい。

→ 始良地区等の中学校へはパンフレットを持参の上直接訪問する予定である。